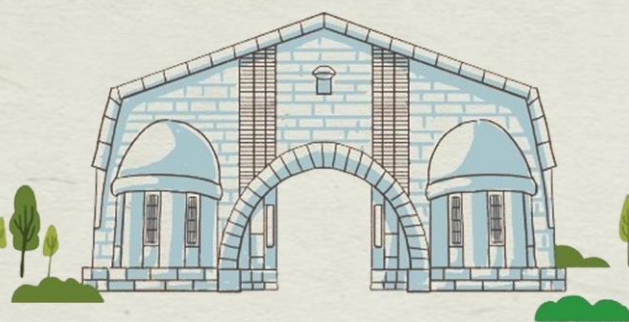


國定古蹟嘉義舊監獄與
日本北海道網走監獄博物館
推動友好交流協定成果報告書

博物館網走監獄と
国定古跡嘉義旧監獄
友好交流推進協定成果報告書



博物館 網走監獄



指導單位：法務部

法務部矯正署

主辦單位：法務部矯正署嘉義監獄

活動日期：2022.12.20

活動地點：國定古蹟嘉義舊監獄

目 錄

壹、活動緣起	1
貳、活動準備	2
一、活動主視覺背板 (500x250cm)	2
二、締約約文	3
三、致詞稿	7
(一)法務部蔡清祥部長致詞稿	7
(二)網走市水谷洋一市長致詞稿	11
(三)嘉義市黃敏惠市長致詞稿	13
(四)嘉義監獄吳永杉典獄長致詞稿	15
(五)公益財團法人網走監獄保存財團北野清丸理事長致詞稿	17
四、雙方影片介紹 (完整影片詳附件光碟)	19
五、雙方紀念品	21
(一)嘉義舊監獄門樓檜木雕刻	21
(二)ニポポ人形 (NIPOPO)	24
六、會場佈置與活動彩排	25
七、籌備之相關會議紀錄	26
(一)第一次專案會議 (111年6月1日)	26
(二)第二次專案會議 (111年10月17日)	31
(三)監內工作小組會議 (111年12月16日)	39
八、其他準備事項	40
(一)活動流程表	40
(二)桌牌	43
(三)邀請函	44
(四)活動手冊及臺日友情徽章	46
(五)座位表	47
(六)新聞稿	49
參、活動當日照片集錦	52
肆、出席貴賓名單	57
伍、工作人員名單	58
陸、活動成果	59
一、媒體熱烈報導	59
二、奠定獄政文化交流的基石	70

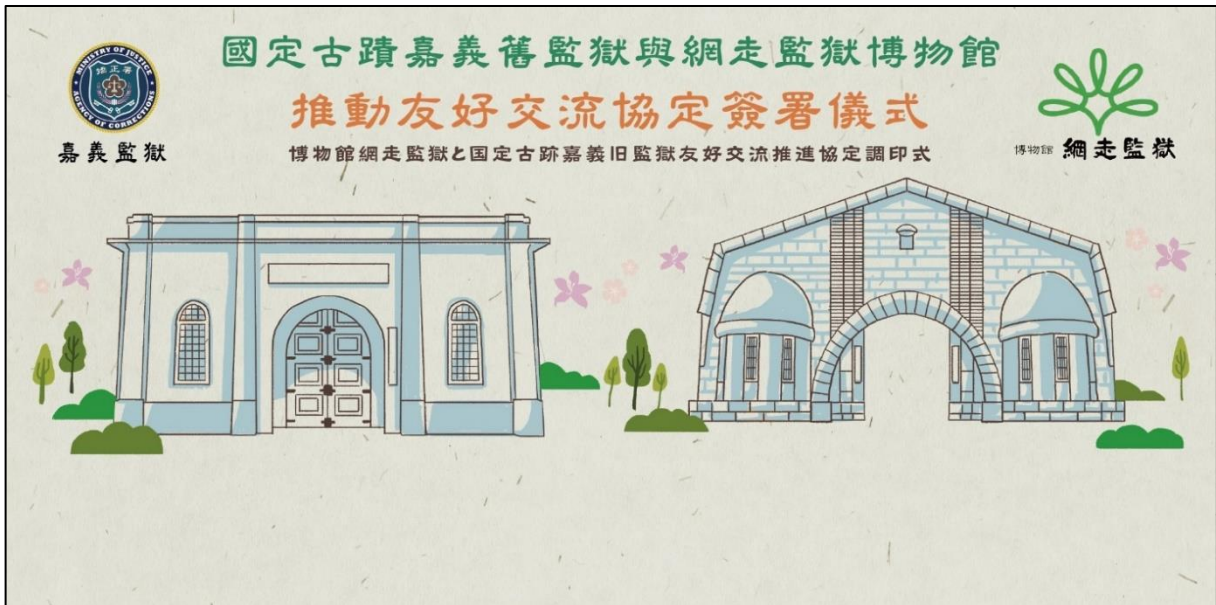
壹、活動緣起

為了讓嘉義舊監獄古蹟活化及再利用功能更符合社會期待及民意，法務部結合行政院「開放政府協作會議」平臺，於111年2月19日召開協作會議，並邀請各界關心舊監獄保存與發展的貴賓齊聚嘉義舊監獄園區，希望透過公私協力共同激盪腦力，提出對於舊監獄各種創意與想法，並有與會者提及與日本北海道網走監獄博物館交流之可能性，其後始透過外交部居中協助促成本次交流。



貳、活動準備

一、活動主視覺背板(500x250cm)



▲主視覺背板定稿



▲現場照片

二、締約約文



博物館 網走監獄

國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館

❖ 推動友好交流協定 ❖

國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館係全世界僅存唯二之放射式木造監獄，為促進雙方互相交流，希望透過此共通點，增進彼此間情誼，並創造台日互惠友好關係。

今後，在相互信賴及尊重之基礎上，兩方約定將展開交流關係，為此，雙方同意簽署下列協定。

1. 雙方透過在文化領域交流，致力促進文化遺產之保存與推廣。
2. 雙方相互推動地方創生及觀光行銷，創造經濟雙贏，提升雙方之觀光效益。
3. 雙方共同致力推動台日民眾對獄政歷史文化之理解。
4. 雙方相互增進交流合作，並於疫情結束後適當時機推動互訪。
5. 在相互理解之基礎下，雙方強化彼此友好關係，並致力促進提升地方知名度。
6. 交流學術資料、出版物及重要活動訊息。
7. 雙方認為適當之任何其他合作項目。

本協定書，以中文及日文各製作乙式2份，雙方各執乙份以為憑據，並自雙方簽署之日起生效。

2022年12月20日

簽署人
國定古蹟嘉義舊監獄代表

簽署人
網走監獄博物館代表

法務部矯正署嘉義監獄典獄長
(吳永杉)

公益財團法人網走監獄保存財團理事長
(北野清丸)

▲ 中文版約文



博物館 網走監獄



博物館網走監獄と国定古跡嘉義旧監獄

❖ 友好交流推進協定 ❖

博物館網走監獄と国定古跡嘉義旧監獄は、全世界においてただ2つだけの放射状木造監獄である。この共通点を通じ、双方による博物館交流を促進すべく、台日互惠関係及び友好交流を共に築くことを望む。

今後、相互の信頼と尊重を礎として、両地の交流関係を展開していくため、双方の合意のもと以下の協定を締結する。

1. 双方は文化分野での交流を通じて、文化遺産の保存と普及推進に努める。
2. 双方は相互に地方創生及び観光マーケティングを促進し、相互利益を創出し、双方の観光経済効果を向上させる。
3. 双方は共に刑務所管理の歴史と文化に対する日台の人々の理解を促進するよう努める。
4. 双方は相互の交流と協力を強化し、パンデミック終了後、適時に相互訪問を推進する。
5. 双方は相互理解のもとに友好関係を強化し、地元の知名度向上の促進に努める。
6. 学術資料、出版物及び重要なイベント情報を交換する。
7. その他、双方が適切と認める事項について協力する。

本協定書は、日本語と中国語による一式2部を作成し、各々1部を保有するものとし、署名の日から効力が発生する。

2022年12月20日

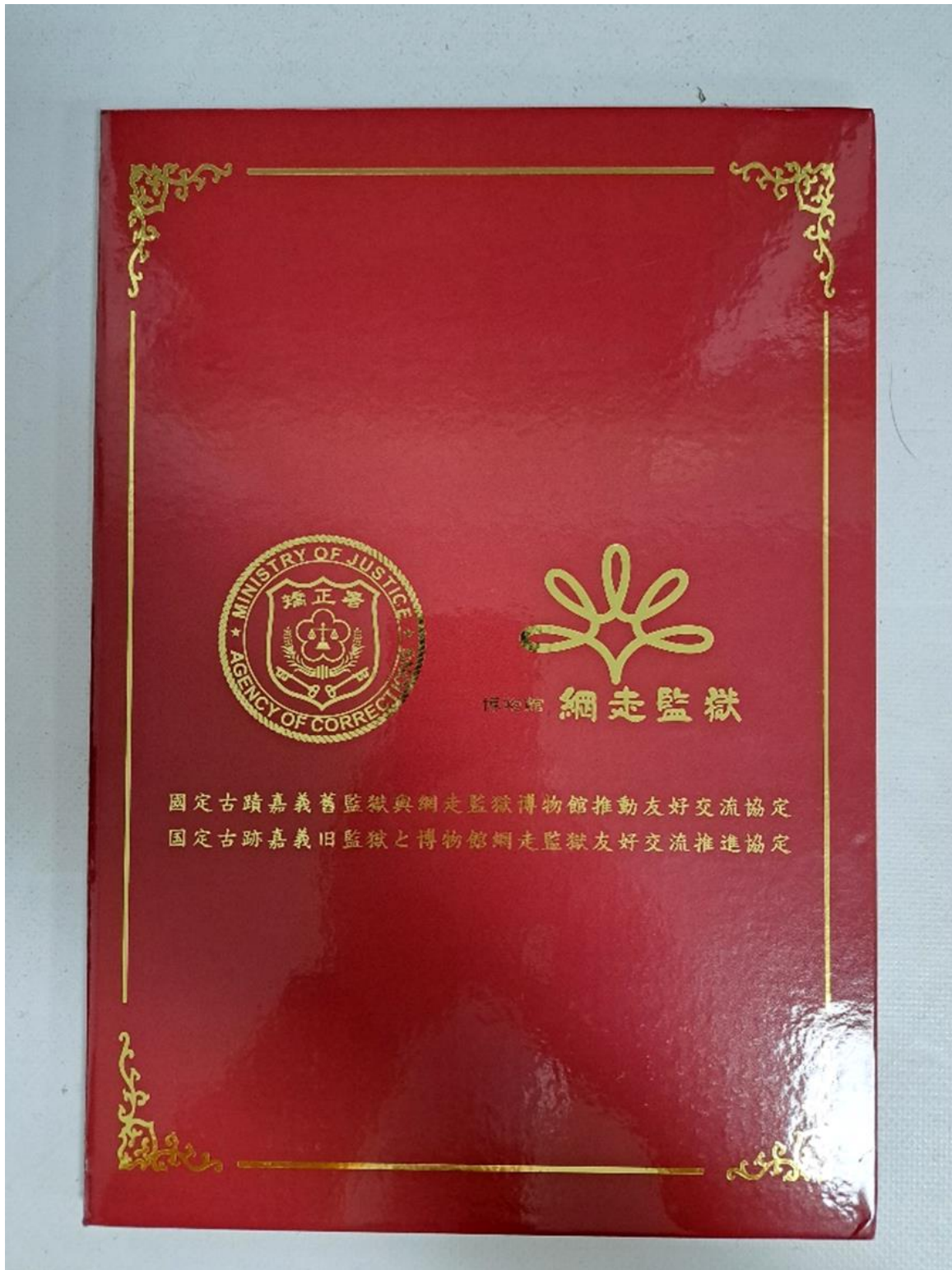
署名人
博物館網走監獄代表

署名人
国定古跡嘉義旧監獄代表

公益財団法人網走監獄保存財団理事長
(北野清丸)

法務部矯正署嘉義刑務所長
(吳永杉)

▲ 日文版約文



▲證書套



▲已簽署約文

三、致詞稿

法務部蔡清祥部長致詞稿

日本網走市水谷洋一市長、日本公益財團法人網走監獄保存財團北野清丸理事長、網走監獄博物館今野久代副館長、我國外交部台北駐日經濟文化代表處札幌分處粘信士處長、嘉義市黃敏惠市長、立法院王美惠委員、本次活動國定古蹟嘉義舊監獄簽署代表嘉義監獄吳永杉典獄長、各位貴賓及媒體記者朋友，大家好：

今日可說是歷史性的一天，恭喜協定簽署活動順利圓滿完成。嘉義舊監獄創建於1919年（日據時期大正8年），1922年竣工啟用，整個監獄建築群保存完整，不僅是國定古蹟，也是國家重要文化財，今年（2022）適逢嘉義舊監獄啟用屆滿100週年，與日本網走監獄博物館簽署友好交流協定，可以說是送給嘉義舊監獄一個最好的百歲生日禮，格外具有意義。

嘉義舊監獄是一個木造的監獄，主要由臺灣當地（阿里山）的檜木建造而成，是臺灣僅存日治時期規模最完整的監獄建築群，不僅保存了當時獄政人員的工作場所、居住區域和生活場域，更是在原址加以修復重建，是一個適合向後代子孫述說故事、並富含法治及人權教育的歷史現場，是相當寶貴的文化資產，具有歷史傳承的意義。嘉義舊監獄保存了「賓州制」監獄建築特色，也就是採取放射型的建築設計，管理人員值班的「中央台」位在放射線的匯集中心，可以快速監控不同方向的監獄舍房，便於管理。目前全世界完整保存這種建築特色的監獄，僅剩下2座，一座是位於日本北海道的網走監獄博物館，另一座就是位於臺灣的嘉義舊監獄，今天這2座監獄能夠簽署友好交流協定，不僅奠定了雙邊的歷史里程碑，更是其他監獄或博物館所無法取代的。

嘉義舊監獄的活化再利用，是我上任以來積極推動的政策，為了符合當代文資保存趨勢及永續經營的目標，同時拆解監獄原本帶給人冰冷、封閉的形象，轉而朝向開放、親民，融合市民生活需求的活化方向。在去(2021)年12月24日至今年1月2日，法務部協助嘉義市政府在嘉義舊監獄舉辦「2021 台灣設計展」，舊監搖身一變為時尚的青年旅舍，成功吸引民眾目光，更有高達5萬餘人到場參與，足見嘉義舊監的觀光潛能。今(2022)年2月19日，為了讓嘉義舊監獄古蹟活化及再利用功能更符合社會期待及民意，法務部特別結合行政院「開放政府協作會議」平臺，希望透過公私協力合作，大家共同腦力激盪，盡可能收集多元意見，聆聽各界的想法和嶄新創意。我們邀請了從在地里長和居民，與在嘉義長期經營教育深耕的團體、地方及全國性的觀光旅行社業者、青年學子、志工、文史專家，乃至建築景觀專家、博物館長和嘉義市政府同仁，齊聚嘉義舊監獄園區，從各自的

關懷和願景出發，談論「對於嘉義舊監獄的未來想像」，大家積極提供寶貴建議，同時也貢獻資源，一起讓嘉義舊監獄變得更好。

最後，我相信，無論是日本網走監獄博物館，或是臺灣的嘉義舊監獄，雙方都承載了深刻的地方記憶，在未來的永續經營上，都應該跟民眾的日常生活與集體記憶，有更深刻的連結，在歷史上，二座歷史建築能夠保存下來，也和民間力量有很大的關係，因此如何融入地方文化，結合民間力量，發揮教育下一代的功能，是很重要的。期待未來日本網走監獄博物館和臺灣嘉義舊監獄能夠攜手合作，在友好交流協定的基礎上，紮根地方、晉升國際、共創新風貌。法務部很樂意與大家站在一起，未來有機會的話，待疫情趨緩，也歡迎雙邊進一步實體交流。再次恭喜今日活動順利圓滿成功，也祝嘉義舊監獄100歲生日快樂！在此也跟大家拜個早年，祝福各位身體健康、平安如意，謝謝大家！

法務省蔡清祥部長のご挨拶

日本網走水谷洋一市長、公益財団法人網走監獄保存財団の北野清丸理事長、博物館網走監獄の今野久代副館長、台湾の外交部台北駐日経済文化代表所札幌分処の粘信士処長、嘉義市黄敏惠市長、王美惠国会議員、それから今回の協定調印式の代表である嘉義旧監獄の呉永杉監獄長、みなさんおはようございます。

本日、旧嘉義監獄と網走監獄博物館との友好推進協定調印式が円満に終わり、心よりうれしく存じます。今日は歴史的にとっても重要な一日だと考えております。旧嘉義監獄は1919年（大正8年）に建てられ、1922年に落成しました。建物全体はよく保存されており、国定古跡であり、重要な国家財産でもあります。今年で旧嘉義監獄の落成100周年となり、本日を以って、博物館網走監獄と友好推進協定を結び、これは特別な意味がある誕生日プレゼントとも言えるでしょう。

嘉義旧監獄は木造の建築であり、主に台湾の阿里山のヒノキで造られています。日本統治時代の行刑建築においては、当館は今まだ残っている唯一のものであります。当時監獄の刑務官の仕事場、住宅と生活エリアがよく保存されています。その後、修復工事を経て、現在は貴重な文化資産となり、法治、人権、または歴史面では、当館は教育的な価値が高い所だと考えております。

旧嘉義監獄は「ペンシルベニア式結構」を取り入れ、つまり放射状に広がる建築デザインです。刑務官は全ての舎房を見渡せるように、中央の見張所にいます。そうすると、受刑者を管理することが便利になります。現在、このペンシルベニア式を取り入れた監獄は、世界中たった二つだけ残っています。一つは当館であり、もう一つは博物館網走監獄であります。本日、この二つの監獄は友好推進協定を結ぶことができ、これは歴史に刻まれる重要な出来事になりました。

「旧嘉義監獄の活化および再利用」、これが私がずっと取り組んでいる政策の一つであります。「文物保存」および「持続的発展」という趨勢に従い、「冷たく暗い監獄」から「親しみやすい観光スポット」へと変身させるのが狙いなんです。去年（2021年）12月24日から今年1月20日まで、台湾の法務省は嘉義市政府とともに、当館において「2021 台湾デザイン展」を行い、旧監獄はおしゃれなユースホステルに変身し、5万あまりの観光客を惹きつけて、そこから旧嘉義監獄の魅力が伺えます。今年2月19日に、私たちの「旧嘉義監獄の活化および再利用」が市民のニーズにより近づくために、法務省と行政院は「政府民間協同会議」というプラットフォームを開き、市民の声に耳を傾け、

各団体、各業界の意見を聴取しようとしています。地元の市町村長、住民、旅行会社、学生団体、ボランティア団体、文化関係者、建築関係者、学芸員および嘉義市政府のスタッフたちを集め、「旧嘉義監獄への展望」について話し合っただきました。このように、一人ひとりの努力を通じて、旧嘉義監獄のより良い未来を望んでおります。

最後になりますが、日本博物館網走監獄であれ、台湾旧嘉義監獄であれ、私たちはそれぞれの歴史を背負って、市民の日常生活と集合記憶に深く繋がっています。今後、行政と民間が連携することによって、地元の文化記憶を次世代に伝え、絆を深めることが重要な課題だと考えております。また、この友好推進協定のもとで、地元の基盤を固め、国際へと進み、新たな未来を創ればと期待しております。今後、コロナが収まったら、ぜひ実体的な交流活動を促したいと存じております。本日の調印式が順調に行われるよう願っております。旧嘉義監獄、100歳の誕生日おめでとうございます。もうすぐ台湾のお正月になりますが、みなさんもよいお年をお迎えください。ありがとうございました。

網走市水谷洋一市長致詞稿

今天是臺灣嘉義舊監獄與網走監獄博物館簽署推動友好交流協定的日子。嘉義舊監獄與網走監獄博物館，同樣都擁有全世界獨一無二的放射型木造牢房設計，也因為這樣的共通點，促成了今日日臺交流的美事。

嘉義舊監獄於日據時期1922年完工，因為在當時，嘉義是重要的木材集聚地，據說，嘉義舊監獄的建築上使用了相當多的檜木。

網走監獄博物館為舊網走監獄的主要設施，它在日本明治時期木造監獄建築之中，屬於少數還遺留下來的建物，具有相當高的歷史價值。特別是牢房及中央觀察所，採木造放射型設計，是日本唯一完整保留的歷史遺跡。由於網走監獄博物館具備當時監獄的標準特徵，因此在2016年被我國指定為重要文化財。

藉由今天的交流協定簽署儀式，我希望可以加深臺日雙方歷史或文化方面的交流，相信今日的活動將為日本及臺灣的歷史寫下無可取代的一頁。

最後，祝福嘉義舊監獄與網走監獄博物館蓬勃發展，臺日關係友好，也祝福在場各位健康平安。謝謝各位。

網走市水谷洋一市長のご挨拶

台湾嘉義旧監獄様と博物館網走監獄様との交流調印式開催にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

今回、嘉義旧監獄様と博物館網走監獄様は、世界的にも珍しい放射状の木造舎房をともに有するという共通点がきっかけで、交流調印式が開催されることになったとお聞きしております。

嘉義旧監獄は、日本統治時代の1922年（大正11年）に完成され、嘉義は木材の集積地だったことから、ヒノキが多用されていると伺っております。

また、当市の博物館網走監獄は、旧網走監獄の庁舎ほか2棟が監獄における主要施設であります。明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として歴史的価値が高く、とりわけ舎房及び中央見張所は、木造の放射状舎房が完全な形で残る唯一のもので、当時の標準的な獄舎の特徴を備え、2016年に我が国の重要文化財の指定を受けております。

今後は、この度の交流調印式を契機として、双方の歴史や文化など、台湾とのさらなる交流、とりわけ、地方との交流が、これからの我が国と台湾の歴史の1ページをしっかりと刻んでいくものと思います。

結びになりますが、嘉義旧監獄様と博物館網走監獄様の益々のご発展と、日本と台湾の良好な友好関係がさらに深まること、また、本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

嘉義市黃敏惠市長致詞稿

網走市水谷洋一市長、日本公益財團法人網走監獄保存財團北野清九理事長、網走監獄博物館今野久代副館長、我國外交部台北駐日經濟文化代表處札幌分處粘信士 處長、法務部蔡清祥部長、立法院王美惠委員、綜合規劃司王文德司長、古慧珍副司長、矯正署黃俊棠署長、嘉義監獄吳永杉典獄長、嘉義看守所蘇維闊所長大家好，感謝蔡部長的邀請，讓我能共同見證嘉義舊監獄與日本網走監獄推動臺日友好交流協定簽署儀式！

嘉義市城市規模不大，僅有 60 平方公里，城區內卻保留相當多日治時期留存至今的文化資產，包含現在還在使用的嘉義火車站、嘉義市立美術館、旅遊嘉義必訪的檜意森活村等等，而嘉義舊監獄更是全世界唯一原地完整保留日治木構「賓夕凡尼亞制」之監獄舍房，至今已啟用百年，由此可見，嘉義市的歷史文化和日本有相當程度的關聯性。

嘉義舊監獄過去矯正功能任務解除後，這幾年在法務部與嘉義市政府共同努力下，持續推動嘉義舊監獄成立獄政博物館，賦予舊監獄在新的世代、新的思維下，創造新的任務與生命，並彰顯發揚它悠久的歷史及文化資產價值，再延續下個百年任務。

今天與蔡部長及各位貴賓共同見證臺日雙方簽訂嘉義舊監獄與網走監獄「推動友好交流協定」，本人實感榮幸與欣慰。嘉義舊監獄的活化再利用，是我從政以來就非常重視與關心的項目，雖然它的所有權在中央政府法務部，但它卻是嘉義市推動「文化新絲路」政策極為重要的觀光節點，因此嘉義市政府也積極編列預算，協助整修監獄旁的宿舍群，加速嘉義舊監獄園區整體的整修進度，以利於未來再利用的規劃。我非常感謝法務部蔡部長上任後積極推動嘉義舊監獄的活化再利用，我們有共同的期待，就是解放舊監獄「讓舊監自由」，也期待這次簽訂友好文化交流協定，能吸取網走監獄營運的寶貴經驗，相信可以帶給臺灣嘉義舊監獄活化更多的啟發與開闊國際視野的機會，讓全世界都可以看見嘉義舊監獄獨一無二的文化特色。

嘉義舊監獄與網走監獄博物館在建築形式與配置非常相似，嘉義舊監獄為國定古蹟，而網走監獄為國家重要文化財，兩處都是國家級的重要文化資產，歷史文化價值之珍貴不言可喻。藉由今天簽訂友好交流協定，雙方展開友好互動吸取成功經營經驗，並把本市文化特色融入舊監後續規劃，打造成一座吸引眾人目光的獄政博物館將指日可待。

再次感謝各位貴賓共同見證這個歷史性的一刻，我們要持續合作，一起在嘉義舊監獄活化再利用的紀錄上，留下珍貴的歷史畫面。

嘉義市黃敏惠市長のご挨拶

本網走水谷洋一市長、公益財団法人網走監獄保存財団の北野清九理事長、博物館網走監獄の今野久代副館長、台湾の外交部台北駐日経済文化代表所札幌分処の粘信士処長、法務省の蔡清祥部長、王美惠国会議員、総合企画部王文徳司長、古慧珍副司長、矯正署の黄俊棠署長、嘉義旧監獄の呉永杉監獄長、嘉義刑務所の蘇維閣所長、皆さんおはようございます。このたび、蔡部長のお誘いで、嘉義旧監獄と博物館網走監獄との友好推進協定調印式に参加させていただき、心からうれしく存じます。

嘉義市は 60 平方キロメートルで、あまり大きくない町ですが、日本統治時代の文化資産がたくさん残っています。たとえば今も利用されている嘉義市駅、嘉義市美術館、嘉義の旅といえは欠かせないスポットの Hinoki Village などが挙げられます。その中、嘉義旧監獄は世界唯一の現地保存の木造建築であり、日本統治時期から既に 100 年以上を経たペンシルベニア式の監獄舎房です。このように、嘉義市の歴史文化と日本とは、緊密な関係を持っているのだと思っております。

ここ数年、嘉義旧監獄は過去のような「受刑者への矯正保護」の働きが次第に無くなり、そのかわりに、法務部と嘉義市政府の推進によって、博物館監獄という新しい肩書が与えられました。新しい任務と歴史的な意義を背負って、その豊富な文化価値を生かして、次の百年に続くように願っております。

本日、蔡部長ならびにご来席の皆様と共にこの友好推進交流協定の調印式に出席する機会が得られ、とてもありがたく存じます。「嘉義旧監獄の活化と再利用」という政策は、私がずっと関心をもつ課題です。嘉義旧監獄は所有権が中央の法務省にありますが、嘉義市の「文化シルクロード」において非常に重要な位置を占めているので、監獄全体の修復工事が一大課題となります。市ではそのための予算を見積もって、今後再利用を推進するように組み込んでおります。今回、日本と友好推進協定を通じて、博物館網走監獄の貴重な経験を学び、そこから嘉義旧監獄活化と再利用へのヒントをいただき、嘉義旧監獄が国際的に活躍できればと期待しております。

嘉義旧監獄および博物館網走監獄は、建築形式において、似ている点が多くあります。また、双方にとって国の重要な文化資産であり、歴史的・文化的な価値は非常に高いのです。この友好推進協定をきっかけに、お互いに経験を交流し、魅力のある博物館監獄を目指しております。

本日、皆さまのお蔭で、嘉義旧監獄は新たな歴史を刻んだと思っております。最後ですが、改めて感謝の意をお伝えしたいと存じます。

嘉義監獄吳永杉典獄長致詞稿

日本網走市水谷洋一市長、公益財團法人網走監獄保存財團北野清九理事長、網走監獄博物館今野久代副館長、我國外交部台北駐日經濟文化代表處札幌分處粘信士 處長、法務部蔡清祥部長、嘉義市黃敏惠市長、立法院王美惠委員、綜合規劃司王文德司長、嘉義地方檢察署張曉雯檢察長、矯正署黃俊棠署長、各位貴賓及媒體記者大家好！

首先感謝網走監獄博物館積極推動本次交流，更感謝我國外交部居中協助促成；嘉義舊監獄與網走監獄博物館為世界碩果僅存的二座「賓夕凡尼亞制」監獄建築古蹟，深具犯罪矯正史實與文化古蹟多重價值。藉由本次友好交流協定，將可以深化雙方合作關係，增進彼此觀摩學習機會，尤其網走監獄博物館已是世界知名的觀光景點，在經營管理古蹟保存發展經驗上，相當值得我方借鏡學習。

今天友好交流協定締結儀式，適逢嘉義舊監獄竣工 100 年紀念。這樣的契機，不僅對友好雙方具有深遠意義，更是嘉義舊監獄邁向國際的新里程。期待日後友好雙方進一步拓展實質交流，分享獄政文物資產保存及轉型觀光發展經驗，積極推廣民眾對獄政歷史文化的關懷，為世界珍貴遺產保存創造永續發展及地方創生新契機。

最後，再次感謝各位貴賓及媒體記者出席參與本次活動，共同見證這歷史性的一刻，謝謝大家！祝福大家幸福平安喜樂。

嘉義監獄吳永杉監獄長のご挨拶

日本網走水谷洋一市長、公益財団法人網走監獄保存財団の北野清九理事長、博物館網走監獄の今野久代副館長、台湾の外交部台北駐日経済文化代表所札幌分処の粘信士処長、法務省の蔡清祥部長、嘉義市黄敏惠市長、王美惠国会議員、総合企画部王文徳司長、嘉義地方検察庁長官張曉雯、矯正署の黄俊棠署長、皆さんおはようございます。

このたび、博物館網走監獄および台湾外交部の連携によって、今回の交流活動ができました。旧嘉義監獄と博物館網走監獄はともに「ペンシルベニア式結構」を取り入れた旧跡であり、犯罪の矯正上にも文化上にも重大な価値を持っております。今回の友好推進協定を通じて、お互いの連携関係を深めることが期待されます。特に博物館網走監獄はすでに世界屈指の観光スポットとなり、旧跡保存の経験は台湾にとって、貴重な参考になるのだろうと考えております。

本日の友好推進協定の調印式は、ちょうど当館の落成100周年と重なります。これは双方にとって大きな意義をもつと同時に、旧嘉義監獄が国際化しつつあるという契機にもなります。今後、お互いに文物保存と観光発展の経験を交流することによって、住民が歴史文化への関心を促し、世界遺産の保存および地域の持続的な発展に新しいきっかけとなればと期待しております。

最後ですが、本日の調印式に出席して下さった皆様に改めて感謝の意をお伝えしたいと思っております。よろしく願いいたします。

公益財團法人網走監獄保存財團北野清九理事長致詞稿

大家好。我是今天的簽署儀式致詞代表人北野清九。首先，我想向負責準備這次活動的台北駐日經濟文化代表處的各位，表達我的感謝之意。

回顧監獄建築的歷史，隨著建築設計的近代化，日本的監獄開始採取放射型的舍房設計。網走監獄也在 120 年前，以五翼放射型的建築特色完成。

同樣地，在日據時代的臺灣，嘉義舊監獄則是採取三翼放射型的建築設計，並保存至今。

日本網走監獄於 40 年前開館。我們與嘉義舊監獄博物館的緣分，起源於 2000 年左右，臺灣開始構思將嘉義舊監獄轉型成博物館，並舉辦了嘉義舊監獄保存國際檢討會。當時，我們的相關工作人員受到臺灣的招待，針對嘉義舊監獄轉型的構想，進行了許多討論。今天，日本與臺灣為了增進博物館之間的交流及發展，舉行了推進友好交流協定的簽署儀式。在疫情之前，有許多臺灣人前來日本網走旅遊，我們希望今天的簽約儀式，可以加深兩國之間的交流，也希望藉由全世界屈指可數的監獄博物館，促進具有學術意義的觀光活動。

最後，祝福各位身體健康，萬事如意。以上是我的致詞，謝謝。

公益財団法人網走監獄保存財団の北野清丸理事長のご挨拶

本日の調印式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

この良き日を迎え、数々のご準備を行って頂きました、台北駐日経済文化代表処の皆様にお礼を申し上げます。

行刑建築の歴史を鑑みますと監獄近代化に合わせて、日本において放射状舎房が建築され、当館においても遺されている五翼放射状舎房は120年前に建築されました。

同様に、貴国台湾でも統治時代に旧嘉義監獄に、三翼の放射状舎房が建築され現在保存されております。

当館は、今から40年前に博物館網走監獄として開館いたしました。嘉義監獄博物館とのご縁は、貴国で博物館構想が持ち上がった2000年頃、嘉義監獄保存国際検討会議が開催され、当館の学芸員も招待され、嘉義監獄の博物館構想のアドバイスをを行ったことから始まっております。この度、両国におきまして、博物館の相互交流と発展を目的に調印式を開催する運びとなりました。コロナ以前は、貴国台湾から網走市にたくさんの方が訪れ観光を楽しんで頂いておりました。この締結を境に、益々の交流と、世界でも数少ない監獄博物館として学術観光に寄与できるよう願っております。

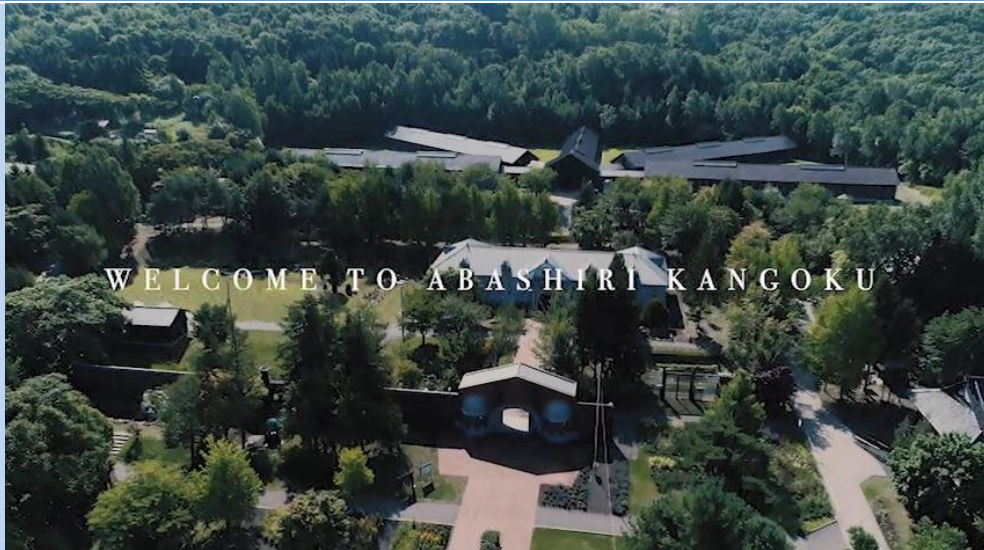
最後になりましたが、台湾各関係機関の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、調印式の挨拶といたします。

四、雙方影片介紹

國定古蹟嘉義舊監獄影片介紹



網走監獄博物館影片介紹



五、雙方紀念品

嘉義舊監獄門樓檜木雕刻

國定古蹟-嘉義舊監獄位於嘉義市維新路140號，興建於1919年，1922年正式啟用，啟用時名為臺南監獄嘉義支監，1924年改稱為臺南刑務所嘉義支所。1945年後，稱為第三監獄第一分監，民國36年改稱為臺灣嘉義監獄，為世界唯一原地保存的賓夕凡尼亞式監獄。監獄門樓原是古典樣式的紅磚門樓，造型氣派莊嚴，1930年12月8日發生臺南新營大地震造成倒塌毀損，經原地重建為現今樣式，門樓大門採用阿里山檜木，二片門板厚實，區隔自由與囚禁的兩個世界，兩側六格分割的窗櫺可上下推拉，方正的門樓與拱形門窗共同揉合出監獄方中帶圓的意象。

1930年前的門樓外觀及材料皆與現今明顯不同，僅位置不變，門樓設於中軸線上，象徵當時監獄的權威與重要性。正前方原有一座橋樑連接監獄大門及馬路，該橋日治時代稱「鏡橋」，用意在提醒出監獄的受刑人，由橋上望下水面彷彿照鏡子，藉由水面倒影看看自己的臉是否不再猙獰，光復後改稱「明德橋」，門樓前兩側種有23棵椰子樹，是當時日治衙署門前最常種的樹，整齊排列如衛兵，展現南國特有的風景。

門樓獨特造型為嘉義舊監獄最具代表性之建築，為展現該建築物的美感，由嘉義監獄聘請資深木工雕刻師傅仿造現今門樓之形狀，指導受刑人手工雕刻製成，木雕材料採用舊監獄整修時拆除之檜木，珍貴且具有歷史傳承的意義，充分展現本監歷年來矯治教化之成果，極具收藏價值。



▲木雕本體



▲木雕錦盒外箱



▲木雕檢疫後寄出



▲木彫説明書内頁



▲木彫説明書封面

ニポポ人形(NIPOPO)

NIPOPO是網走市的工藝品。這是網走市立郷土博物館長米村喜男衛先生，看到樺太愛奴吊飾「愛奴NIPOPO」後得到靈感，於是邀請雕刻家谷口百馬製作NIPOPO。而目前我們看到的NIPOPO，是經過改良之後所誕生的作品。

從作品誕生之後到目前，主要是由網走監獄受刑人在監獄內製作這項工藝品。

這項雕刻作品利用槐木材質的特性，呈現八角狀本體以一刀雕手法製成。色彩樸素，為網走市代表的工藝作品。



六、會場佈置與活動彩排

會場布置與活動彩排照片集錦



活動會場



視訊攝影



彩排-吳永杉典獄長、古慧珍副司長



彩排-吳永杉典獄長、王文德司長



網路設備-馮勳尉(左)、周昱辰(右)



口譯-中正大學戴伸峰教授

七、籌備之相關會議紀錄

(一) 第一次專案會議 (111 年 6 月 1 日)

本部國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館 推動友好交流第 1 次專案會議

會議紀錄

壹、時間：111 年 6 月 1 日 (星期三) 下午 2 時 30 分

貳、地點：本部第四會議室 421 室

參、主持人：王司長文德

記錄：鄭添成

肆、出 (列) 席人員：詳如簽到單

伍、與會人員發言要旨：

一、主席致詞：(略)。

二、報告事項：本案當前辦理進度說明 (略)。

三、討論事項：

(一) 協定簽署需注意事項 (保護司經驗分享)：(略)。

(二) 友好交流協定 (草案) 內容修正建議：

1. 鄭專門委員添成 (副召集人暨聯繫窗口)：

(1) 嘉義舊監完工於 1922 年，今年 (2022) 剛好屆滿 100 週年，在此歷史時刻，大家躬逢其盛，此時臺日雙邊簽署友好交流協定，送給嘉義舊監 100 歲生日大禮，格外具有意義；日方包括網走市、網走監獄博物館對於本案皆抱持高度意願，外交部駐札幌辦事處也積極提供協助，希望本案能夠成功促成。

(2) 本案由駐札幌辦事處協助草擬初稿，惟實質交流項目仍有待本部、矯正署及嘉義監獄等秉於矯正

專業及實務考量進行修正，俾尊重並符合我方需求；該處業將協定草案檢送臺日締約雙方審閱，待達成共識後再行協調線上簽約時間等事宜。

- (3) 約文草案經會辦本部國兩司及矯正署意見，業依將「嘉義舊監獄獄政博物館」一詞修改為「國定古蹟嘉義舊監獄」，以符該舊監現階段組織定位；另參酌有關國際交流備忘錄或協定格式，建議在簽署人姓名欄下方增列職稱及姓名，以資識別；復為開創雙邊交流多元可能性，建議於交流項目分別新增「6. 交流學術資料、出版物及重要活動訊息」及「7. 雙方認為適當之任何其他合作項目」，以保留其他適當合作事項彈性（詳會議資料紅色字體）。

2. 郭專員俊丁：草案內容第 2 行有關「博物館」一詞，建議刪除，以符該舊監現階段組織定位，且不影響實質內容。

3. 盧專門委員哲科：草案內容有關交流項目第 3 點所提「下一世代」一詞，建議修改為「民眾」，除適用對象範圍較廣外，也符合本部長官對於舊監未來功能有關法治教育之期待。

4. 王司長文德：上述同點有關「歷史文化之理解」，建議增修為「獄政歷史文化之理解」，以具體指明在多樣歷史文化中著重於獄政面向。

主席決議：以上修正內容，照案通過。

(三) 協定簽署機關、人員、地點、時間規劃：

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：本案經聯繫，有關日方規劃及駐札幌辦事處所提建議，請參閱會議資料（略）。
2. 王司長文德：
 - (1) 經本司研議，參酌日方規劃及駐札幌辦事處所提建議，考量歷史指標意義、執行便利性、防疫措施等因素，簽署地點以嘉義舊監現址為宜，簽署機關及人員則以嘉義監獄典獄長為代表為宜，另鑑於部長長期關注嘉義舊監發展，建議邀請部長以現場視訊或錄影方式為本活動致詞。
 - (2) 由於日方可能邀請網走市長列席觀禮，我方是否另邀請嘉義市長出席，再行研議。
3. 江秘書振亨：有關本案相關事宜，本監配合法務部及矯正署指示辦理；另本監黃典獄長銘強將於本年7月16日退休，是否由其代表簽署，請再考量。
4. 蔡科長宗典：有關本案相關事宜，本署配合法務部指示辦理。

主席決議：

1. 本案簽署機關為嘉義監獄，簽署人員為嘉義監獄典獄長（由屆時典獄長代表），簽署地點擇定在嘉義舊監獄現址，簽署時間再與日方協調。
2. 本案執行機關為嘉義監獄，並請矯正署提供協助。

3. 請嘉義監獄參酌本部保護司經驗，擬定本案簽署活動具體規劃內容，於下次會議進行討論。

4. 本案我方是否邀請嘉義市長出席，再行請示研議。

陸、臨時動議：

1. 郭專員俊丁：考量疫情嚴峻，建議下次會議採視訊方式舉辦。

2. 俞科員秉宏：因疫情嚴峻、路途遙遠且家有老小，建議下次會議採視訊方式舉辦。

主席決議：下次會議訂於7月6日（三）14：30召開，採視訊方式辦理。

柒、散會（下午3時40分）

本部國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館
推動友好交流第1次專案會議

簽到表

單位/機關	姓名	簽名
法務部綜合規劃司 司長(召集人)	王文德	王文德
法務部綜合規劃司 專門委員	鄭添成	鄭添成
矯正署綜合規劃組 科長	蔡宗典	蔡宗典
矯正署綜合規劃組 專員	郭俊丁	郭俊丁
矯正署嘉義監獄 秘書	江振亨	江振亨
矯正署嘉義監獄 總務科科員	俞秉宏	俞秉宏
法務部保護司 科長	潘連坤	潘連坤 黃信統
法務部秘書處 專門委員	盧哲科	盧哲科

(二) 第二次專案會議 (111 年 10 月 17 日)

本部國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館

推動友好交流第 2 次專案會議

會議紀錄

壹、時間：111 年 10 月 17 日 (星期一) 上午 10 時

貳、地點：本部 318 會議室 (實體及視訊)

參、主持人：王司長文德

記錄：鄭添成

肆、出 (列) 席人員：詳如簽到單

伍、與會人員發言要旨：

一、主席致詞：(略)。

二、報告事項：本案當前辦理進度說明 (略)。

三、簽署活動具體規劃內容報告 (略)

四、討論事項：

(一) 協定簽署日期

1. 鄭專門委員添成 (副召集人暨聯繫窗口)：

(1) 嘉義舊監完工於 1922 年，今年 (2022) 剛好屆滿 100 週年，簽署協定是百歲生日禮，可能的話，希望盡量安排在今年底前舉行，比較具有意義。

(2) 協定簽署日期因尚須與考量日方及本部觀禮長官可行時間，經聯繫外交部討論，請嘉義監獄先提供至少 3 個日期供本部轉交日方進行協調 (會前已 email 聯繫)。

(3) 簽署活動預演方面，嘉義監獄規劃草案安排了至少 3 次預演，因預演需協調臺、日、台北駐日經濟文化代表處札幌分處、傳譯人員等多方人員共同與會，經外交

部建議，預演通常以 1 次即可，目的在確認視訊網路連線狀況，並將活動流程至少完整走完一次，讓臺日雙邊工作同仁掌握活動內容。

2. 俞科員秉宏：因嘉義監獄刻正進行舊監獄相關工程標案招標及相關前置作業，與明年度舊監獄管理維護標案之設計、招標，若今年底需與網走監獄簽訂交流，則迫於時程壓力及本監承辦人力不足，恐造成業務上應接不暇，可否將本案延至明年 1 或 2 月簽約。

主席決議：

1. 嘉義監獄規劃草案所提交 5 個日期（111 年 12 月 20 日、12 月 22 日、12 月 27 日、112 年 1 月 12 日、2 月 22 日），由本部研商後，先擇定 3 個日期轉交日方進行協調。
2. 活動預演安排 1 次即可，機關內部自行預演依需求而定，可不限次數。

（二）協定簽署地點

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：因為本次協定簽署活動採視訊方式進行，建議我方簽署地點應具備良好網路環境、可臺日雙邊連線視訊會議者佳。
2. 俞科員秉宏：建議舊監典獄長室、舊所會議室、第一工場等，如嘉義監獄規劃草案。
3. 江副典獄長振亨：日新堂會有回音的現象，第一工場過去舉辦協作會議有連線過，連線是 OK 的，我們內部討論過以第一工場為優先，其他替代地點建議也可考慮有建築代表性特色者，如舊監中央台、婦育館等，但仍須進行網路連線測試。

主席決議：考量本部日前曾在舊監第一工廠辦理過行政院開放政府協作會議，該地點空間可容納多人且可建置良好視訊網路連線，本案暫擇定協定簽署地點為舊監第一工場。

(三) 協定簽署出席人員

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：經聯繫外交部研商，因臺日現階段無邦交，協定簽署者應考量雙邊對等性，鑑於日方簽署代表為網走監獄博物館經營者網走監獄保存財團理事長，該部建議我方簽署者宜由嘉義舊監獄管理者（嘉義監獄典獄長）代表，惟實際推派代表層級仍尊重本部意見；至於協定簽署儀式邀請觀禮或致詞人員則無層級或身份限制。目前規劃暫定出席人員如下：

(1) 日方：

A. 簽署機關及代表：公益財團法人網走監獄保存財團
理事長北野清丸。

B. 觀禮人員：網走市長水谷洋一（邀請中）。
網走監獄博物館館長今野久代。
其他（待確認）。

(2) 臺方：

A. 簽署機關及代表：嘉義監獄典獄長吳永杉。

B. 觀禮人員：本部部長蔡清祥。
本部綜合規劃司司長王文德。
本部綜合規劃司副司長古慧珍。
本部綜合規劃司專門委員鄭添成。
法務部矯正署代表（待確認）。
嘉義監獄代表（待確認）。

嘉義市長（待確認）。

(3) 外交部：

A. 活動司儀：由台北駐日經濟文化代表處札幌分處指派協助

B. 觀禮人員：台北駐日經濟文化代表處代表謝長廷
（邀請中）

台北駐日經濟文化代表處札幌分處處
長粘信士

主席決議：照案通過，臺方出席人員另邀請嘉義地檢署檢察長、嘉義地區司法保護三會等，嘉義市長部分另行研議，並請相關機關（單位）確認出席人員。

(四) 協定簽署流程

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：

(1) 請參閱外交部所提供近期臺日友好交流協定白老町範本—2022.8.3 白老町が台湾で先住民族が多く暮らす自治体と友好協定締結 NHK 報導

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20220803/7000049249.html>

（會前已 email 提供）。

(2) 嘉義監獄規劃草案活動流程，經與外交部討論，該部建議在順序上應依外交慣例先進行雙邊人員介紹及簽約儀式，再進行貴賓致詞，人員介紹及致詞順序為先中方再日方，可參考前述白老町範本。

2. 王司長文德（召集人）：有關簽約背景說明部分，建議改為播放中日雙邊的監獄簡介影片，有助於雙邊互相瞭解，並讓活動內容更加豐富。

3. 俞科員秉宏：嘉義舊監相關影音資料，刻正委由廠商進行影片剪輯中，如該播放影片後製需同時加上中、日文字幕，不知上下排序為何？請協助確認。

主席決議：照案通過，請嘉義監獄規劃草案活動流程參考外交部建議進行調整；另有關簽約背景說明部分，改為播放中日雙邊的監獄簡介影片，請嘉義監獄就現有的影音資料進行剪輯後，傳送本部參考；有關影片中日字幕上下排序問題，由本部再向外交部確認慣例做法。

(五) 協定簽署傳譯（口譯）

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：

(1) 感謝外交部協助，台北駐日經濟文化代表處札幌分處將為本案協助提供 2 位司儀人員，分別為副領事鍾宜錚（協助中文宣讀程序）、日籍職員藤見尚子（協助日文宣讀程序），協助掌控活動典禮的進行；惟該部司儀依慣例僅協助宣讀程序不負責傳譯。

(2) 活動過程如有長官或貴賓致詞等即時口譯需求，需由該機關自行聘請口譯人員，在前述白老町活動案例，花蓮縣新城鄉即有聘請口譯，負責協助翻譯長官和貴賓的致詞；反之，機關如無即時口譯需求，或未聘請口譯人員，則仍需事先提供致詞稿等中日翻譯版本，供雙邊與會人員參考。例如臺方長官貴賓口頭致詞時，另一邊（日方）即自行閱讀事先提供的中翻日紙本，輪由日方長官貴賓口頭致詞時，臺方即自行閱讀事先提供的日翻中紙本。

2. 俞科員秉宏：如嘉義監獄規劃草案，中正大學犯防系教授

戴仲峰老師已同意協助本次口譯，本監規劃需再有 1 至 2 位口譯人員較為保險，請鈞部、鈞署提供戴老師擔任口譯人員之往例及其相關費用供本監參考。

3. 郭專員俊丁：有關本案翻譯人員費用，由於嘉義舊監本身即編列有相關獨立預算，並由嘉義監獄負責經費管理，如嘉義監獄在本案經費上有問題，本署會協助進行進行協調。

主席決議：照案通過，本案傳譯人員相關費用先由矯正署協調嘉義監獄支應，如有困難則由本部提供協助，會後可再行研議。

(六) 協定簽署其他事項

1. 鄭專門委員添成（副召集人暨聯繫窗口）：有關嘉義監獄規劃草案所提出相關問題，經與外交部討論後，建議如下：
 - (1) 簽約軟、硬體部分，視訊會議使用軟體鑑於日方未使用 U Meeting，建議採用 Google Meet 或 Microsoft Teams，請先行於會議場地安裝測試，選擇連線效果較佳者，擇定後請回復本部，俾聯繫日方及外交部進行準備；另有關會議室系統開設為日方或我方一案，研議將由司儀方（台北駐日經濟文化代表處札幌分處）進行開設。
 - (2) 協定約文、友好交流紀念品等寄送地址和收件人部分，原則上為公益財團法人網走監獄保存財團，會再向日方進行確認。
 - (3) 簽約場地的佈置，有許多細節需要注意，經參酌前述白

老町活動案例影片，由於是國際交流，例如臺日雙方在桌上均擺設有雙邊國旗等，供嘉義監獄規劃參考。

2. 江副典獄長振亨：如同鄭專委所言，我也從白老町活動影片中注意到，日方在簽約時的確注重許多小細節，例如雙方代表人員都會製作桌上名牌，而且製作的材質可能需要注意，避免使用如壓克力等鏡頭拍攝會反光的材質，如果只用單純的紙張也不好看，必須精緻一點；另該影片中我方人員有穿背心，並繡有職稱、人名等，本活動是否要一律穿背心、西裝或外套等，可以再討論；在背板方面，影片裡日方是用背板，是較平整的，我方則是用拉布條的方式，如果沒拉好，布條就會下垂，在畫面上就不是那麼美觀，建議可能還是設計背板為佳；影片部分，嘉義舊監去年舉辦攝影展，有請公關公司製作影片，可加以剪輯和後製。

3. 王司長文德（召集人）：

- (1) 活動主視覺背板相當重要，無論拍照或攝影都會入鏡，留下歷史紀錄，嘉義監獄如規劃委外承辦，建議在背板主視覺設計圖定案前先傳送本部討論。
- (2) 活動出席人員服裝方面，請一律穿著西裝等正式服裝，以彰顯本部團結的精神。
- (3) 活動流程規劃時間，在雙方致贈紀念品部分耗時一個多小時，應為誤植，請確認並加以更正。

主席決議：照案通過，以上事項請配合辦理。

陸、臨時動議：無

柒、散會（下午 11 時 20 分）

本部國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館

推動友好交流第2次專案會議

簽到表

單位/機關	姓名	簽名
法務部綜合規劃司 司長(召集人)	王文德	王文德
法務部綜合規劃司 專門委員	鄭添成	鄭添成
矯正署綜合規劃組 科長	蔡宗典	(請假)
矯正署綜合規劃組 專員	郭俊丁	(視訊)
矯正署嘉義監獄 秘書	江振亨	(視訊)
矯正署嘉義監獄 總務科科員	俞秉宏	(視訊)
法務部綜合規劃司 副司長 (列席)	古慧珍	古慧珍
法務部秘書處 (列席)	盧哲科	(請假)

(三) 監內工作小組會議 (111 年 12 月 16 日)

國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館 推動友好交流協定-工作會議

- 一、時間：111 年 12 月 16 日(星期五) 上午 10 時 00 分
- 二、地點：本監行政大樓二樓會議室
- 三、主席：連副典獄長鴻榮 紀錄：俞秉宏
- 四、出席人員：
總務科江俊賢科長、教化科蕭瑞彰科長、蔣傳祥心理師、林慧芬教誨師、陳怡秀社工師、陳冠伯主任、鐘立群、周昱辰、洪宗平、鍾鳳英、毛建寧、張哲偉。
- 五、議題：
針對將於 111 年 12 月 20 日假嘉義舊監獄第一工場舉辦「國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館推動友好交流協定」之當日活動流程舉行工作會議。
- 六、會議討論：詳如附件「工作分配表(含座位表)」。
- 七、決議事項：
1. 致贈紀念品，宜由女性工作人員協助此環節，請教化科林慧芬教誨師、陳怡秀社工師擔任。
2. 簽到處由林慧芬教誨師、陳怡秀社工師擔任工作人員。
3. 台日友好胸章由總務科採購，予當日與會貴賓配戴，見證台日友誼。
4. 其餘工作人員及其工作事項如「工作分配表(含座位表)」所示。

八、散會。

承辦人	科員	單位主管	秘書	副典獄長	典獄長
					

八、其他準備事項

(一) 活動流程表

時間 (台灣時間)	項目	詳細流程
10:00 10:05	儀式開始、貴賓介紹	<ul style="list-style-type: none"> ● 各位日本及臺灣的長官、貴賓大家好，今天的線上簽署儀式係中華民國國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館，為推動臺日友好交流，共同簽署交流協定。儀式容由台北駐日經濟文化代表處札幌分處擔任司儀協助進行。 ● 以下簽署儀式正式開始，首先將介紹臺方代表及貴賓，請介紹到的貴賓對鏡頭揮手致意： <ul style="list-style-type: none"> ● 首先歡迎法務部蔡清祥部長。 ● 嘉義市黃敏惠市長。 ● 立法院王美惠委員。 ● 嘉義監獄吳永杉典獄長。 ● 法務部綜合規劃司王文德司長。 ● 法務部矯正署黃俊棠署長 ● 臺灣嘉義地方檢察署張曉雯檢察長 ● 接下來將逐一介紹日方代表及貴賓，也請被介紹到的貴賓打開鏡頭並對鏡頭揮手致意： <ul style="list-style-type: none"> ● 網走市水谷洋一市長。 ● 北海道網走監獄博物館代表北野清丸理事長。 ● 北海道網走監獄博物館今野久代副館長。 <p>另外感謝台北駐日經濟文化代表處札幌分處粘信士處長蒞臨見證</p>
10:05 10:15	播放介紹影片	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接下來播放國定古蹟嘉義舊監獄及網走監獄博物館的介紹影片，為今天的儀式揭開序幕，首先播放國定古蹟嘉義舊監獄介紹影片。 2. 接下來播放網走監獄博物館介紹影片。
10:15 10:20	協定書內容說明	<p>接下來進行簽約儀式，儀式進行前，我們將先以中日文說明協定內容，請簽約代表及觀禮代表參閱手邊的資料。</p>
10:20 10:25	交流協定簽署儀式	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接下來請嘉義監獄吳典獄長以及公益財團法人網走監獄保存財團北野清丸理事長進行簽約，約本為中日文一式兩份，請兩位代表進行「署名」完成簽約儀式。

		<ol style="list-style-type: none"> 2. (雙方簽約，鏡頭特寫)。 3. 簽約完成，請兩位代表將合約放置在胸前，我們來為這歷史性的一刻拍照留念。 4. (螢幕拍照截圖)。 5. 也請各位嘉賓為見證這重要的一刻鼓掌喝采。 6. (鼓掌)。 7. 禮成，接下來進行貴賓致詞。
<p>10：25 10：45</p>	<p>雙方簽約代表 暨貴賓致詞</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 首先我們請法務部蔡清祥，蔡部長為我們致詞。請各位觀禮代表參閱手邊資料。 2. (蔡部長致詞) 3. 謝謝蔡部長 4. 接下來請網走市長水谷洋一為我們致詞。請各位觀禮代表參閱手邊資料。 5. (水谷市長致詞) 6. 謝謝水谷市長 7. 接下來請嘉義市黃敏惠，黃市長為我們致詞。請各位觀禮代表參閱手邊資料。 8. (黃市長致詞) 9. 謝謝黃市長 10. 接下來我們請公益財團法人網走監獄保存財團北野清丸理事長為我們致詞，請各位觀禮代表參閱手邊資料。 11. (北野清丸理事長致詞) 12. 謝謝北野清丸理事長！ 13. 再來我們請嘉義監獄吳典獄長為我們致詞，請各位觀禮代表參閱手邊資料。 14. (吳典獄長致詞) 15. 謝謝吳典獄長！
<p>10：45 10：50</p>	<p>雙方致贈紀念 品</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接下來我們進行紀念品致贈儀式。我們請締約雙方交換友好交流紀念品，儀式結束後，我們將寄送交流雙方。 2. 首先由吳典獄長致贈友好交流紀念品，嘉義監獄致贈的是使用檜木雕刻，象徵嘉義舊監獄精神之「國定古蹟嘉義舊監獄門樓雕刻」。此紀念品是由臺灣資深木雕匠師指導嘉義監獄受刑人，依嘉義舊監獄現今門樓樣貌，歷時3個月手工雕刻製成。其材料特選嘉義舊監獄整修時所拆除之老檜木，數量有限，彌足珍貴。典獄長借此次簽署儀式之機會，送給網走監獄博物館典藏，深具交流紀念意義。 3. (鏡頭逐漸拉近特寫) 4. 接下來由北野清丸理事長致贈友好交流紀念品，網走監獄博物館博物館致贈的紀念品是「ニポポ人形」。 NIPOPO 是網走市的工藝品。這是網走市立鄉土博物館長米村喜男衛先生，看到樺太愛奴吊飾「愛奴 NIPOPO」後得到靈感，於是邀請雕刻家谷口百馬製作 NIPOPO。而目前我們看到的 NIPOPO，是經過改

		<p>良之後所誕生的作品。</p> <p>從作品誕生之後到目前，主要是由網走監獄受刑人在監獄內製作這項工藝品。</p> <p>這項雕刻作品利用槐木材質的特性，呈現八角狀本體以一刀雕手法製成。色彩樸素，為網走市代表的工藝作品。</p> <p>5. (鏡頭逐漸拉近特寫)</p>
<p>10:50 11:00</p>	<p>紀念照拍攝時間</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 為了紀念這歷史性的一刻，我們請簽約代表握手合影，請雙方代表就位(拍照及截圖)。 2. 接下我們請雙方簽約代表、觀禮代表，以及線上觀禮代表一同進行線上大合影，請觀禮代表就位，並請線上代表開啟鏡頭(拍照及截圖)。
<p>11:00</p>	<p>禮成</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 禮成！非常感謝臺日雙方代表、觀禮代表及與會嘉賓的參與，今天的簽約儀式圓滿結束，為我國和日本的文化交流開啟了新的一頁。 2. 現在是臺日雙方代表、觀禮代表及與會嘉賓交流時間，各位可藉由今天難得的機會，向對方說說幾句話。 3. 如果沒有的話，大家可自由離席，再次感謝各位參與。

(二) 桌牌

A款桌牌21x10cm



桌牌模擬圖



雷雕示意圖



(三) 邀請函

(外封頁)



(內頁)

邀請函

謹訂於民國111年12月20日(星期二)上午10時

假國定古蹟嘉義舊監獄第一工場舉行

「國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館推動友好交流協定」簽署儀式

恭請 蒞臨指導



法務部 部長 蔡清祥



法務部矯正署 署長 黃俊棠

法務部矯正署 嘉義監獄 典獄長 吳永杉

敬邀

簽署儀式流程

時間	活動項目
10:00-10:05	儀式開始、貴賓介紹
10:05-10:15	播放介紹影片
10:15-10:20	協定書內容說明
10:20-10:25	交流協定簽署儀式
10:25-10:45	雙方簽約代表暨貴賓致詞
10:45-10:50	雙方致贈紀念品
10:50-11:00	紀念照拍攝時間
11:00	禮成

(四) 活動手冊及臺日友情徽章



▲活動手冊



▲臺日友情徽章

(五) 座位表

		活動主題背板							
			典獄長吳永杉	部長蔡清祥			液晶 螢幕		
		致詞台							
電子看板								教授 戴伸峰	
攝影機	副司長 古慧珍	檢察長 張曉雯	司長 王文德	市長 黃敏惠		立法 委員 王美惠	署長 黃俊棠	組長 林豐材	所長 蘇維闊
	副典獄長 連鴻榮	專門委員 盧哲科	專門 委員 鄭添成	局長 葉國樑	網路 攝影機	專門 委員 紀佳伶	助理研究員 陳韋伸	理事長 黃國明	主任委員 林文村
	預備席	預備席	秘書 呂維鈞	副典 獄長 江振亨		科長 蔡宗典	專員 郭俊丁	常務 委員 陳玲寬	委員 蔡孟君
			攝影機			液晶 螢幕			
	記者席	記者席	記者席			記者席	記者席	記者席	
	記者席	記者席	記者席			記者席	記者席	記者席	

▲會場座位表

		活動主題背板							
								液晶螢幕	
		股長 俞秉宏	秘書 呂維鈞	科長 蔡宗典	專員 郭俊丁	教授 戴伸峰			
副典獄長 江振亨	副典獄長 連鴻榮	專門委員 盧哲科	專門委員 鄭添成	局長 葉國樑	專門委員 紀佳伶	助理研究員 陳韋伸	理事長 黃國明	主任委員 林文村	常務委員 陳玲寬
副司長 古慧珍	檢察長 張曉雯	司長 王文德	市長 黃敏惠	典獄長 吳永杉	部長 蔡清祥	立法委員 王美惠	署長 黃俊棠	組長 林豐材	所長 蘇維閻
預備席	預備席				網路攝影機			預備席	預備席
			攝影機			液晶螢幕			
記者席	記者席	記者席				記者席	記者席	記者席	
記者席	記者席	記者席				記者席	記者席	記者席	

▲合照位置表

(六) 新聞稿

法務部矯正署嘉義監獄 新聞稿



發稿日期：111年12月20日

連絡人：秘書呂維鈞

連絡電話：05-3621865 轉 106

簽署友好交流協定 開創臺日矯正外交

見證嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館歷史傳承

深具百年歷史的國定古蹟嘉義舊監獄及日本網走監獄博物館，今（20）日在法務部蔡部長清祥及臺北駐日經濟文化代表處札幌分處粘處長信士共同見證下，在嘉義舊監獄第一工場舉辦「國定古蹟嘉義舊監獄（臺灣）與網走監獄博物館（日本）推動友好交流協定簽署儀式」，而為兼顧疫情，由法務部矯正署嘉義監獄典獄長吳永杉與日本公益財團法人網走監獄保存財團理事長北野清丸，以視訊簽署方式進行。

兩國受邀觀禮來賓，日本方面包括網走市長水谷洋一、網走監獄博物館副館長今野久代，我國則有嘉義市大家長黃敏惠市長、長期關心地方發展之立法委員王美惠、法務部綜合規劃司王文德司長、矯正署長黃俊棠、臺灣嘉義地方檢察署張曉雯檢察長及文化部、嘉義市府代表等，大家共襄盛舉參與見證臺日兩座歷史監獄文物友好交流的簽署儀式。

蔡部長致詞時表示，因個人過去曾走訪日本網走監獄，因此對於如何促成臺日兩座監獄之交流互動，讓矯正歷史傳承下去，念茲在茲，此次進一步推動友好交流協定的契機，係源自於今（111）年2月19日，在嘉義舊監獄舉辦的「開放政府協作會議」，經由公私協力合作討論平臺，民眾提出可與日本網走監獄簽訂友好交流協定的構想，正好與法務部之理念不謀而合，遂經由法務部與外交部的同仁奔波籌備，終於在今日促成

此一文化大事。蔡部長特別強調，無論是日本網走監獄博物館，或是臺灣的嘉義舊監獄，雙方都承載了深刻的地方記憶，在未來的永續經營上，都應該跟民眾的日常生活與集體記憶，有更深刻的連結，在歷史上，二座歷史建築能夠保存下來，也和民間力量有很大的關係，因此如何融入地方文化，結合民間力量，發揮教育下一代的功能，是很重要的。今年適逢嘉義舊監獄啟用百年，此刻簽訂友好交流協定意義非凡。期許未來嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館能夠攜手合作，在友好交流協定的基礎上，推動舊監獄活化再利用，並結合臺日地方特色文化，促進國際交流與觀光，共創矯正機關多元新風貌。

日本網走市水谷市長則表示，希望藉由今天的交流協定簽署儀式，可以加深臺日雙方歷史與文化方面的交流，為日本及臺灣的歷史寫下無可取代的一頁，並祝福嘉義舊監獄與網走監獄博物館蓬勃發展，臺日關係更加友好及穩定。

網走監獄位於日本北海道道東網走市，是日本最北的監獄，與嘉義舊監獄一樣都是木造建築且具有百年的歷史。而且，這二座監獄都是採用「賓夕凡尼亞制」監獄建築形式，其建築特色是放射型的建築設計；這種監獄的「中央台」位置設在放射線匯集的中心點，讓監所管理人員可以直接有效監控不同方向的監獄舍房，在過去沒有電子監視設備的時代，此種建築設計是相當符合當時監獄管理的需求。目前全世界僅嘉義舊監獄及日本網走監獄保留這類形式的建築，可以說是世界上唯二珍貴遺產，共同承載了矯正歷史軌跡紀錄和深刻的地方人民記憶，更顯彌足珍貴。

簽署儀式後，我方代表吳永杉典獄長致贈網走監獄博物館的紀念品是嘉義舊監獄木雕門樓，此紀念品是嘉義監獄受刑人歷時三個月純手工刻製，其材料特選嘉義舊監獄整修時拆除之老檜木，深具典藏與交流紀念意義。日方代表網走監獄博物館北野清丸理事長則回贈嘉義舊監獄同為木雕製品「ニポポ人形(Nipopo)」，以一刀雕手法製成，這是朝鮮戰爭後經濟不景氣時期，網走監獄為維持監獄受刑人工作收入而生產的民間工藝品，具有悠久歷史及特殊意涵，也為簽署儀式劃下完美句點。

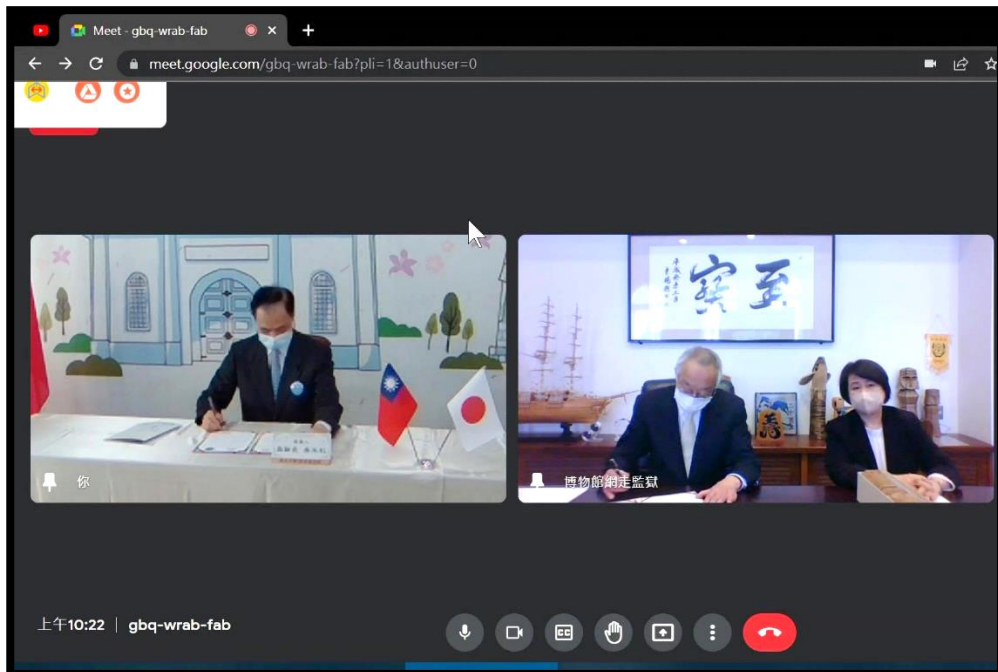
今日臺日雙方簽署前述友好交流協定後，接下來將透過嘉義舊監獄與網走監獄博物館雙邊共通點，在相互信賴及尊重之

基礎上，促進雙方文化遺產之保存與展品推廣，並相互推動地方創生及觀光行銷，共同致力傳承獄政歷史，未來將擇選適當時機推動實體交流，賡續深化彼此友好關係，開創兩國矯正外交之新篇章！

參、活動當日照片集錦



簽約代表人-吳永杉典獄長(左) 簽約見證人-法務部蔡清祥部長(右)



雙方簽約-吳永杉典獄長(左) 北野清丸理事長(右)



吳永杉典獄長簽約



簽約雙方合影



簽約見證人-法務部蔡清祥部長致詞



嘉義市黃敏惠市長致詞



簽約代表人-吳永杉典獄長致詞



吳永杉典獄長致贈日方紀念品



締約代表人握手合影-吳永杉典獄長(左) 北野清丸理事長(右)



臺日雙方大合照

肆、出席貴賓名單

見證人：法務部長蔡清祥

一、嘉義舊監獄代表：法務部矯正署嘉義監獄典獄長吳永杉

二、網走監獄代表：公益財團法人網走監獄保存財團理事長北野清丸

三、日方觀禮：

網走市長水谷洋一

網走監獄博物館副館長今野久代

四、臺方觀禮：

嘉義市長黃敏惠

立法委員王美惠

台北駐日經濟文化代表處札幌分處處長粘信士

法務部綜合規劃司司長王文德

法務部綜合規劃司副司長古慧珍

法務部綜合規劃司專門委員鄭添成

法務部秘書處專門委員盧哲科

文化部文化資產局專門委員紀佳伶

文化部文化資產局助理研究員陳韋伸

法務部矯正署署長黃俊棠

法務部矯正署綜合規劃組組長林豐材

法務部矯正署綜合規劃組科長蔡宗典

法務部矯正署綜合規劃組專員郭俊丁

臺灣嘉義地方檢察署檢察長張曉雯

嘉義市政府文化局局長葉國樑

法務部矯正署嘉義監獄副典獄長連鴻榮

法務部矯正署嘉義監獄秘書呂維鈞

法務部矯正署明德外役監獄副典獄長江振亨

法務部矯正署嘉義看守所所長蘇維闊

財團法人犯罪被害人保護協會嘉義分會主任委員林文村

財團法人更生保護會嘉義分會常務委員陳玲寬

財團法人更生保護會嘉義分會委員蔡孟君

嘉義榮譽觀護人協進會理事長黃國明

國立中正大學犯罪防治學系教授戴伸峰

伍、工作人員名單

台北駐日經濟文化代表處札幌分處副領事鐘宜錚(司儀-協助中文宣讀程序)
台北駐日經濟文化代表處札幌分處職員藤見尚子(司儀-協助日文宣讀程序)
嘉義監獄總務科長江俊賢
嘉義監獄教化科長蕭瑞彰
嘉義監獄教誨師林蕙芬
嘉義監獄社工師陳怡秀
嘉義監獄心理師蔣傳祥
嘉義監獄科員王國佐
嘉義監獄科員俞秉宏
嘉義監獄主任管理員陳冠伯
嘉義監獄管理員周昱辰
嘉義監獄管理員張育碩
嘉義監獄管理員洪宗平
嘉義監獄管理員鐘立群
嘉義監獄管理員蔡維勤
嘉義監獄管理員毛建霖
嘉義監獄工友鐘鳳英
嘉義監獄司機謝水樹

陸、活動成果

一、媒體熱烈報導

本次我國與日本共同籌辦國定古蹟嘉義舊監獄與日本北海道網走監獄博物館推動友好交流協定線上簽署儀式，獲得我國官方、民眾及媒體的高度重視，我國方面共有 3 家電視媒體及 10 餘家電子媒體報導，日方亦有多則媒體報導，活動獲得高度好評。





台日兩賓夕凡尼亞制監獄 共簽推動友好交流協定

WA 觀傳媒
 觀傳媒

更新於 1天前 · 發布於 12月20日 13:34

追蹤



▲兩座監獄採用線上簽署方式進行。
 (圖 / 記者郭政隆攝, 2022.12.20)

推動舊監獄活化再利用 嘉義舊監與日本網走監獄攜手交流

今傳媒 2022/12/20 14:02(3天前)



【今傳媒 / 記者郭政隆報導】有百年歷史的國定古蹟嘉義舊監獄，和日本北海道東網走市的網走監獄，是全世界為二採用「賓夕凡尼亞制」建築形式的監獄，這兩座監獄於12/20日簽訂「推動友好交流協定」，因疫情關係，儀式採用線上簽署方式進行，今天在法務部長蔡清祥、嘉義監獄典獄長吳永杉、嘉義市長黃敏惠、之委王美惠及日本方面之網走市長水谷洋一、網走監獄保存財團理事長北野清丸、網走監獄博物館副館長今野久代等多位貴賓的見證下，完成台日兩座監獄博物館具歷史性的締約儀式，期許未來嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館能夠攜手合作，在友好交流協定的基礎上，推動舊監獄活化再利用，並結合台日地方特色文化促進國際交流與觀光，共創矯正機關多元新風貌。

法務部蔡清祥部長表示，促成此次推動友好交流協定的契機，源自於111年2月19日在嘉義舊監獄舉辦的「開放政府協作會議」，透過此公私協力合作討論平台，民眾提出了可與日本網走監獄簽訂友好交流協定的構想，經由法務部與外交部的奔波籌備，終於在今日促成此一文化大事；蔡部長強調，今年適逢嘉義舊監獄啟用百年，此刻簽訂友好交流協定意義非凡。

嘉義市長黃敏惠指出，嘉義市城市規模不大，僅有60平方公里，城區內卻保留相當多日治時期留存至今的文化資產，包含現在還在使用的火車站、美術館、旅遊嘉義必訪的檜意森活村等等，而嘉義舊監獄更是全世界唯一原地完整保留日治木構「賓夕凡尼亞制」之監獄舍房、工場與宿舍區，至今已啟用百年，過去矯正功能任務解除後，這些年在持續推動嘉義舊監獄成立博物館，賦予舊監獄在新的世代、新的思維下，創造新的任務，使嘉義舊監獄再延續下個百年任務，彰顯並發掘它悠久的歷史及文化資產觀光價值。

台日世界唯二木造百年監獄簽交流協定 提升觀光效益



中央通訊社

發布於 12月20日 15:57

追蹤

(中央社記者黃國芳嘉義市20日電) 國定古蹟嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館，為世界唯二木造百年珍貴遺產，雙方今天以視訊簽署友好交流協定，未來相互推動地方觀光行銷，讓民眾理解獄政歷史文化，提升雙方觀光效益。



國定古蹟嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館，為世界唯二木造百年珍貴遺產，嘉義監獄典獄長吳永杉(左) 20日與網走監獄博物館代表以視訊簽署友好交流協定。中央社記者黃國芳攝 111年12月20日

嘉義舊監、日本網走監獄簽交流協定

呂妍庭 / 嘉市報導
2022年12月21日

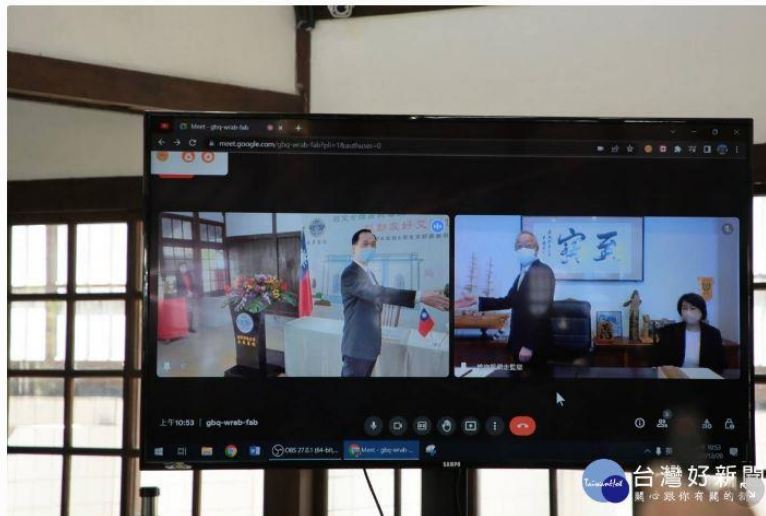


有百年歷史的國定古蹟嘉義舊監獄，20日透過線上直播，與日本網走監獄博物館簽訂「推動友好交流協定」，雙方代表更隔空合影共同見證歷史。(呂妍庭攝)

國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館 締結友好交流協定

台灣好新聞
發布於 2022年12月20日 17:45 · 嘉義地方中心 / 嘉義報導

追蹤



國定古蹟嘉義舊監獄，今(20)日與日本網走監獄簽訂「推動友好交流協定」/ 嘉義市府提供

百年歷史的國定古蹟嘉義舊監獄，今(20)日與日本網走監獄簽訂「推動友好交流協定」，因疫情關係，儀式在在嘉義舊監獄第一工場採用線上簽署方式進行，在市長黃敏惠、法務部長蔡清祥、嘉義監獄典獄長吳永杉、日本方面則由網走市長水谷洋一、網走監獄保存財團理事長北野清九、網走監獄博物館副館長今野久代等人見證下，完成台日兩座監獄(博物館)具歷史性的締約儀式，期待未來兩方有更多深化交流。

台日兩賓夕凡尼亞制監獄 共簽推動友好交流協定

由 觀傳媒 提供 - 20 12 月, 2022



台日兩賓夕凡尼亞制監獄 共簽推動友好交流協定

觀傳媒/ 2022.12.20 13:34



A- A A+



▲兩座監獄採用線上簽署方式進行。

(圖 / 記者郭政隆攝, 2022.12.20)

(觀傳媒嘉義新聞)【記者郭政隆 / 嘉義市報導】有百年歷史的國定古蹟嘉義舊監獄，和日本北海道東網走市的網走監獄，是全世界為二採用「賓夕凡尼亞制」建築形式的監獄，這兩座監獄於12/20日簽訂「推動友好交流協定」，因疫情關係，儀式採用線上簽署方式進行，今天在法務部長蔡清祥、嘉義監獄典獄長吳永杉、嘉義市長黃敏惠、之委王美惠及日本方面之網走市長水谷洋一、網走監獄保存財團理事長北野清丸、網走監獄博物館副館長今野久代等多位貴賓的見證下，完成台日兩座監獄博物館具歷史性的締約儀式，期許未來嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館能夠攜手合作，在友好交流協定的基礎上，推動舊監獄活化再利用，並結合台日地方特色文化促進國際交流與觀光，共創矯正機關多元新風貌。

台、日兩「前監獄」簽友好協定 全世界唯二保存這特色

2022-12-20 16:39 聯合報／記者林伯驊／嘉義即時報導

+ 監獄



嘉義監獄典獄長吳永杉（左）和公益財團法人網走監獄保存財團理事長北野清丸隔空握手。記者林伯驊／攝影

國定古蹟嘉義舊監獄與網走監獄博物館締結友好交流協定 黃敏惠市長親見證 盼舊監活化更上層樓

12/20/2022 特派員蔡文隆 嘉義報導



キーワードを入力 | Q

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

嘉義旧監獄、「網走監獄」と友好協定を締結 観光経済効果の向上へ ／台湾

12/20(火) 19:04 配信

フォーカス台湾
NEWS CHANNEL



嘉義旧監獄、「網走監獄」と友好協定を締結 観光経済効果の向上へ 台湾

(嘉義中央社) 南部・嘉義市の国定古跡嘉義旧監獄は20日、北海道網走市の博物館網走監獄と友好交流推進協定を締結した。今後、双方の観光経済効果の向上や刑務所管理の歴史と文化に対する理解促進などに取り組む。

嘉義旧監獄は日本統治時代の1922(大正11)年に供用を開始。当時の建物がほぼ完全な形で保存されており、国の重要な文化財とされている。

オンラインで行われた調印式に台湾から出席した蔡清祥(さいせいしょう)法務部長(法相)は、地域の文化を生かしながら民間の力を合わせて次の世代を育てることは重要だとあいさつした。

網走監獄保存財団の北野清丸理事長は、世界屈指の監獄博物館を通じた学術的意義のある観光の促進に期待を示した。

嘉義監獄は、同監獄と網走監獄はいずれも100年以上の歴史がある木造建築で、舎房は放射状に並んでいると説明。放射状の木造建築が残る刑務所は世界で嘉義と網走の2カ所しかないと貴重性を強調している。

(黄国芳／編集:齊藤啓介)

世界で二つ「放射状木造舎房」で協定

【網走】博物館網走監獄が、台湾の嘉義旧監獄と友好交流推進協定を結んだ。両監獄は世界に「二つだけの放射状の木造舎房を有しており、学術資料の共有や知名度向上で協力を図っていく。

嘉義旧監獄は日本統治時代の1922年（大正11年）に供用され、3翼の放射状に広がる舎房が特徴的とされてきた。現在は博物館として公開され、観光スポットにもなっている。

調印式は20日、オンラインで実施。協定には、新型コロナウイルス禍の収束後に双方を訪問して交流を深めることやイベント情報の交換などが盛り込まれ、網走監獄の北野清丸理事長と嘉義旧監獄の呉永杉監獄長がサインを交わした。両者は網走と嘉

博物館網走監獄と台湾の旧監獄

学術資料共有や知名度向上を目指す



オンライン調印式で協定書にサインする北野清丸理事長（左）

義の受刑者がそれぞれつくった木工作品を記念品として贈り合った。北野理事長は「交流が深まり、学術観光に寄与することを期待したい」とあいさつした。
(池野上通)



博物館 網走監獄【公式】
@kangoku_prison

当館と台湾嘉義監獄博物館の交流推進協定の調印式が20日、オンラインで行われました。嘉義監獄は日本統治時代に建てられた木造監獄。網走監獄と同様の放射状舎房が保存されており、両館は20年来の交流があります。式には関係者30人が出席。さらなる相互交流を約束しました。

#博物館網走監獄

#網走

翻譯推文



2023年1月17日

読売新聞

日台の監獄 交流協定

博物館「網走監獄」（網走市）と台湾・嘉義市の国定古跡「嘉義旧監獄」が、友好交流のための協定を結んだ。両監獄は、珍しいとされる放射状の木造舎房が特徴だ。

博物館となっている嘉義旧監獄は、日本が台湾を統治していた1922年から刑務所として使われ、3翼の放射状の舎房がある。旧網走刑務所の建物を移築・保存する網走監獄は、国の重要文化財になっている建物も多く、5翼の放射状の

網走市と嘉義市

歴史啓発や観光活性化へ

舎房もその一つだ。

網走監獄が嘉義旧監獄の保存のための会議に関わったのがきっかけで、今回の協定を結んだ。文化遺産の保存や刑務所の歴史の啓発、相互訪問、観光による地域経済の活性化などをめざす。

昨年12月の協定調印式で、網走監獄保存財団の北野清丸理事長は「放射状の木造舎房を持つ監獄博物館として、国際交流を重ねて日本と台湾の行き来を促進したい」と話した。

二、奠定獄政文化交流的基石

國定古蹟嘉義舊監獄與日本網走監獄博物館是全世界僅存唯二之放射式木造監獄，為促進雙方互相交流，希望透過此共通點，增進彼此間情誼，並創造臺日互惠友好關係，在疫情期間仍然克服重重困境，採線上視訊儀式，進行推動友好交流協定簽署。為將來進一步拓展實質交流、分享獄政文物資產保存、轉型觀光發展經驗、推廣民眾對獄政歷史文化的關懷等交流活動奠定基石。